

事務 事業名		コード1	80700	【下水道会計】下水道建設事業	課	下水道課					
		コード2			所属班	工務班					
					電話番号	62-5364	内線	7100			
施策 体系	基本方針	2	快適でうるおいのあるまちづくり		予算	会計		款	項	目	
	施策	4	下水道の整備		科目	下水道会計		2	2	1	
	施策の展開	1	公共下水道の整備		根拠 法令	下水道法・都市計画法					
	基本事業	96	公共下水道の整備・促進								

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳	●道路側溝や水路等に流れていた生活排水(汚水)を一括処理するため下水道施設を建設し、生活環境を改善するとともに河川等の公共用水域の水質を改善する。 ●主に ①家庭や事業所から出る汚水を集めるため下水道管を建設する。②集めた汚水をきれいに川に流すための汚水処理施設を建設する。 【下水道区域】認可区域 旭処理分区のうち旭駅周辺202ha 【認可期間】平成27年度まで ●平成25年度は、汚水処理施設の長寿命化計画の策定に向けた基礎調査を実施。
☒ 期間限定複数年度 平成 4 年度～ 平成 27 年度まで ※全体像を記述→	【業務の流れ】 計画策定→事業認可取得→補助事業採択→地元説明会→工事発注・施工→工事完成→供用開始→排水設備接続

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳 (25年度の実績)	単位: 千円
1. 工事請負費	26,612
2. 委託費	94,780
3. 事務費	642
その他	0
【前年度比増減理由】	管渠建設工事費の増【歳入】国庫支出金40,260千円・市債64,400千円・負担金16,733千円
② 延べ業務時間の内訳 (25年度の実績)	単位: 時間
設計積算業務	2時間×60日×2人 = 240時間
施工管理業務	4時間×150日×2人 = 1200時間
排水設備業務	2時間×60日×2人 = 240時間

事業費	費目内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	1. 工事請負費	千円	54,773	43,611	26,612	161,026
人件費	2. 委託費	千円	362,940	0	94,780	11,517
	3. 事務費	千円	1,642	1,474	642	7,467
事業費計 (A)		千円	419,355	45,085	122,034	180,010
うち一般財源		千円	14,780	0	641	0
正規職員従事人数		人	1.25	0.83	0.83	1.25
延べ業務時間		時間	2,520	1,680	1,680	2,520
人件費計 (B)		千円	9,576	6,384	6,384	9,576
トータルコスト(A)+(B)		千円	428,931	51,469	128,418	189,586

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 面整備事業 旭処理分区管渠建設工事 L=608m 汚水処理施設長寿命化計画策定に係る基礎調査委託	ア 整備面積	ha	16.9	3.3	4.0	6.4
目的	26年度計画(26年度に計画している主な活動) 面整備事業 旭処理分区管渠建設工事 L=1,426m 汚水処理施設長寿命化計画の策定	イ					
		ウ					
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
	ア 下水道認可区域	ア 下水道認可区域	ha	202.0	202.0	202.0	202.0
目的	イ 下水道計画区域内住民	イ 下水道供用区域人口	人	6,391	6,413	6,502	6,689
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
目的	ア 下水道が整備される。	整備済面積	ha	184.5	187.8	191.8	198.2
	イ 下水道に接続する。	下水道整備率 (下水道整備済面積/認可区域)	%	91.3	93.0	95.0	98.1
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	接続件数	件	50	40	36	59
	快適な生活環境の確保 河川や海などの自然環境への負荷低減	イ 水洗化率(接続率) (下水道接続者数/下水道利用可能者数)	%	56.0	57.4	57.7	60.0
上位目的		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)
		ア 新川の水質(BOD) 仁玉川の水質(BOD)	mg/l	5.1 6.45	6.7 6.40	5.4 3.40	-
		イ 下水道処理人口普及率 (下水道利用可能者数/行政区画内人口)	%	9.4	9.3	9.5	9.8

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
市街地の拡大や生活様式の変化につれて、排出される汚水量が増加し河川等の水質汚濁が進行していた。 快適な居住環境をつくるとともに、水質保全を図ることを目的として公共下水道事業を開始した。	人口減少や財政事情の変化。 水洗化率の伸び悩み。	住民、議会から下記意見が寄せられている。 ・負担金や排水設備工事の経済的負担が大きい。 ・既設の浄化槽利用で不便を感じていない。 ・下水道区域外との不公平感がある。 ・下水道整備に経費がかかりすぎている。

事務事業名	【下水道会計】下水道建設事業	課名	下水道課	班名	工務班
-------	----------------	----	------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 下水道が整備され、利用者が増えることにより、道路側溝や水路等へ汚水の流入がなくなり、快適な居住環境がつけられている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 既に旭処理分区内の旭駅周辺地域が計画区域として認可され、整備率も95%を超えていることから、対象は適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 下水道事業は市が行うことと下水道法で規定されている。下水道の普及は、公衆衛生の向上に大きな役割を果たし、河川等の公共用水域の水質保全など環境面でも効果は大きく、行政によるインフラとして整備されることが妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 整備事業は予定どおり進んでいるが、事業開始年度が遅く、近隣市と比較して水洗化率が低い。 水洗化率 銚子市73.6%(S58年) 香取市80.8%(S35年)
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 活動量を増やさなくても水洗化率を高めることは可能である。 整備済区域の普及促進活動を行い水洗化率を高める。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(農業集落排水事業・合併処理浄化槽の普及促進) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 下水道整備計画等生活排水処理関連事業の計画を見直し、適正で効果的な事業を行う。 また、下水道普及促進事業と合わせて水洗化率の向上を図る。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 経済的な工法・埋設ルートの選定等コスト縮減に取り組むことで、事業費の削減が図られる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 測量・設計等委託できるところは対応済であり、これ以上の業務時間の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 土地所有者は受益者負担金、下水道利用者は使用料を負担しており、下水道整備区域内の住民は受益相当分の負担をしている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果			(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	市の方針である事業認可区域について計画どおり整備が進んでいるため、平成27年度末までの整備完了に向けて取り組みを継続する。整備にあたっては経済的な工法・埋設ルートの選定等でコスト縮減に取り組む。また、水洗化率の向上に向け積極的に取り組み事業効果を上げる。さらに、下水道整備計画等生活排水処理関連事業の計画を見直し、適正で効果的な事業を行う。
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☒ 目的再設定	☐ 行政関与の見直し		<table border="1"><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
									コスト																		
							削減	維持	増加																		
成果	向上	○																									
	維持																										
	低下																										
☒ 事業のやり方改善による成果向上	☒ 事業統廃合・連携(関連事業: 農業集落排水・合併処理浄化槽)																										
☒ 事業のやり方改善による事業費削減	☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減																										
☐ 受益機会の適正化	☐ 費用負担の適正化																										
☐ 廃止・休止																											
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																											
いつまでに	なにを、どうするのか？																										
①継続実施	①水洗化率の向上																										
②平成27年度末	②下水道整備計画等生活排水処理関連事業の計画の見直し																										
③継続実施	③経済的な工法・埋設ルートの選定等でコスト縮減に取り組む																										
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
①浄化槽、汲み取り式を利用している世帯に下水道接続の働きかけを行う。																											
②農水産課、環境課と協議をした上で旭市汚水適正処理構想に基づくアクションプランの策定を行う。																											
③特になし																											